

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子・染色体検査研究班 提出日：令和 6 年 7 月 1 日 報告者：杉浦 記弘

行事種別	研究会	行事番号	240001625	
開催日	令和 6 年 7 月 13 日（土）			
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了	17 時 00 分
場 所	所在地 名古屋市・リッブルスクエア			
テーマ	体細胞関連遺伝子検査の色々			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 岩田 英紘 技師			
講 師	1. 「造血器腫瘍遺伝子検査をやってみよう」 JCHO 中京病院 山本 浩二 2. 「当院での肺がん遺伝子マルチ検査の現状」 刈谷豊田総合病院 村上 真理子 3. 「がん遺伝子パネル検査の品質評価における技師の役割」 愛知県がんセンター病院 平松 可帆			
内 容	体細胞関連遺伝子検査について、各施設でどのような遺伝子検査を実施しているか、運用や最近のトピックなどを紹介して頂いた。 講演 1 では、造血器腫瘍遺伝子検査の院内実施やプライマーの作成等について講演頂いた。 講演 2 では、肺癌マルチ遺伝子検査の施設現状や工夫等について講演頂いた。 講演 3 では、自施設でのがん遺伝子パネル検査の運用や検査内容について講演頂いた。 遺伝子染色体検査研究班としては、久々の現地開催であったが、最新の体細胞関連遺伝子検査の実情を学ぶ機会にできた。			
参加者	総数：17 名（会員 17 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：22 名			
共催、後援など				

活動報告書

所属：遺伝子・染色体検査研究班 提出日： 令和 6 年 11 月 14 日 報告者：杉浦 記弘

行事種別	講演会		行事番号	240010850	
開催日	令和 6 年 10 月 12 日(土) ～～ 10 月 25 日 (金)				
時 間	開 始	〇〇時〇〇 分	終 了	〇〇時〇〇 分	
場所・配信	オンデマンド				
テーマ	病原体遺伝子検査と NGS				
生涯教育履修点数	専門教科 20 点				
司 会	西尾市民病院 河井 麻友 技師				
講 師	講 師：1.「感染症分野における臨床検体への NGS 解析の応用」 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 第三室長 堀場 千尋 2.「本院における感染症遺伝子検査の導入と経験」 高知大学医学部附属病院 西田 愛恵				
内 容	次世代シーケンス（NGS）の基礎から、微生物検査への NGS の応用や使用経験についての講演頂いた。 講演 1 では、NGS の基礎と基本用語、感染症分野における NGS 解析、NGS による感染症診断の実際について詳細に解説していただいた。 講演 2 では、感染症遺伝子検査の導入経験を主軸に、検査でのクオリティー確認のポイントや、マニュアル作成、試薬・消耗品の管理法など、実践的な内容を講演していただいた。 オンデマンド配信で、他県からの参加もして頂き、多くの方に公聴して頂けた。				
参加者	合計：94 名（会員 46 名、県外会員 45 名、講師 2 名、実務委員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）事前参加申込数：133 名				
共催、後援など					

合計：現地開催 (講師・実務委員・参加者)、
ライブ・オンデマンド配信 (講師・実務委員・レポート提出者)

活動報告書

所属：遺伝子・染色体検査研究班 提出日： 令和 7 年 2 月 24 日 報告者：杉浦 記弘

行事種別	研究会		行事番号	240023764	
開催日	令和 7 年 2 月 8 日(土) ～ 2 月 17 日 (月)				
時 間	開 始	〇〇時〇〇 分	終 了	〇〇時〇〇 分	
場所・配信	オンデマンド				
テーマ	令和 6 年度愛臨技精度管理報告				
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点				
司 会	大阪大学医学部附属病院 鈴木 翔太 技師				
講 師	1.「令和 6 年度 愛臨技精度管理調査報告」 JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 榊原達朗 2.「ジェネティックエキスパートについて」 JCHO 中京病院 山本浩二 3. 「『対策型検診における HPV 検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル』から考える今後の子宮頸がん検診市場」ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 井上麻歆				
内 容	令和 6 年度の愛臨技精度管理調査報告とジェネシックスエキスパート、HPV 検査単独による子宮頸がん検診について講演頂いた。 講演 1 では、令和 6 年度愛知県臨床検査技師会主催の精度管理調査報告について正解率や回答の解説、次年度にむけたアンケート調査の報告を行った。 講演 2 では、ジェネティックエキスパート取得を考える方へ、受験要綱や注意点、試験対策などの解説を行った。 講演 3 では、子宮頸がん検診が HPV 検査単独法へと変更された場合の注意点やそれによる細胞診検査への影響についてご講演いただいた。 オンデマンド配信で、他県からの参加もして頂き、多くの方に公聴して頂けた。				
参加者	合計：118 名（会員 46 名、県外会員 68 名、講師 3 名、実務委員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）事前参加申込数：144 名				
共催、後援など					

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）